

# 英語 2019年度東京都立高校一般入試 入試分析

～入試ではこう出る!!～

## 【出題内容】

全23問 1問4点 (2-3-(2)(作文)のみ12点)

約10分間のリスニングの後、残りの問題を効率よく解かなければならない。図表を絡めた会話文・Eメール・条件英作文の複合問題、対話文問題、長文問題の大問3つの形式には慣れが必要。リスニングの5問目と条件英作文以外はすべて選択問題だが、選択肢はすべて英語表記である。

### 1 リスニング問題

全5問 1問4点 計20点

形式・難度とも昨年と同じ。短い会話文の内容を問う3問と、スピーチの内容を問う2問。最後の1問が記述問題で正答率が低く、設問の疑問詞や主語・動詞を注意して聞き取って正解を確実に書く作文力が必要。ただ、聞き取る文章～問いの流れが2回繰り返されるので、1回目であらすじと問題をつかみ、2回目で解答となる内容を聞き取れば、全問正解できる。

### 2 図表を絡めた会話文・Eメールの読解と条件英作文

全4問 1問4点(英作文のみ12点) 計24点

形式は昨年と同じ。図表と会話文の問題では、与えられた条件をしっかりたどる丁寧さが必要となり、やや難度が上がった。一方、Eメールの問題では、初めに登場するEメールの中に、返事のEメールを作る自由英作文に応用できる部分があったので、うまく利用すれば満点解答を作成することができた。部分点も得られるので必ず書ききる。

### 3 対話文読解

全7問 1問4点 計28点

難度は昨年と同じ。最初の5問は本文中の下線部が表す内容・理由について問われる。下線部の前後に解答の根拠が書かれているので難しくない。[問6]は形式が変わったが、reusing(再利用)とreducing waste(無駄を減らすこと)の説明で中学生ならよく知っている内容だったので、容易に選ぶことができた。問7は本文の内容に関するEメールを完成させる問題。4人の登場人物の言動を確実に捉えることが大切。

### 4 長文読解

全7問 1問4点 計28点

形式・難度とも昨年と同じ。文章の長さは680語程度で昨年より僅かに増えた。本文中の下線部が表す内容を問う問題は[問1]のみ。[問2]は4つの英文を登場順に並び替える問題。[問3]・[問4]は本文の内容に関する質問が英問英答形式で計5問。すべて選択問題で難しくはない。全体のあらすじを捉え、確認したい場面をすぐに見つけられる把握力が必要。

年々、訳注はつくものの語彙の難度が上がり、英文に読み慣れておく必要性が強くなっている。いずれも学校の勉強だけでは身につかない。英語は得点を稼ぐことのできる最重要科目ととらえて、勉強量を増やしていくべきである。

## 実際の問題にチャレンジ!

### 3 [問6]

①reusingと②reducing wasteの具体的な例の組み合わせとして正しいものは、次のア～エのうちではどれか。

- |  |  |
|--|--|
| ア ① David is wearing a school uniform someone took good care of. | ② People threw away recyclable resources in the past.  |
| イ ① Shohei is going to keep using his bike.                      | ② People share things like cars and bikes with others. |
| ウ ① David is wearing a school uniform someone took good care of. | ② People share things like cars and bikes with others. |
| エ ① Shohei is going to keep using his bike.                      | ② People threw away recyclable resources in the past.  |

※紙面に収まるように、実際の構成から一部変更してあります。